

# 共有データ画像 で携帯検査 府立医大眼科診療ネット

も可能だという。

当初は、同医大と京都大、府立与謝の海病院(与謝野町)で始め、その後、連携を希望

府立医大は17日、府内の各病院、診療所が目の画像や検査データなどを共有する国内初の眼科システムを来年4月から運用すると発表した。携帯電話でデータを見たり、撮影した画像を送信して助言を得たりでき、同医大は「医師がどこにいても、大病院と同レベルの診療ができるようになる」としている。

同医大によると、新システムでは、特定のサーバーに蓄積された各医療機関の画像や投薬、病歴などのデータを携

ることができると、各地の医師が携帯電話で撮影した患者の目の画像をサーバーを介して同医大の医師に送り、即時にアドバイスを受けることと話している。

する府内の病院、診療所に拡大させる予定。同医大の木下茂教授は「眼科だけでなく、他の診療科でも利用できる」

来春から  
府内医師と連携